

# 吹田民主商工会 いんぷお め〜しょん

## 学びあおう 語りあおう

### 市民の願いとまちづくり

11月23日(土)に吹田まちづくり・くらし・市政を考える研究会が大和大学で開催され、383名が参加しました。午前の全体会では岩根良さん(吹田自治都市研究所)から「統計でみる『好循環自治体』吹田の課題」をテーマに基調提案が行われ、全国で特異な吹田の人口増について出生・死亡による自然動態ではなく、転入転出による社会動態によるもので、その要因が地域毎の人口増加に注目し工場跡地などで相次ぐマンション開発であることが考えられるが、その一方で空家率が全国平均と比較して増えていることが課題となつてくるとお話しされました。また産業の特徴では、高い開業率ではあるもののそれを廃業率が上回り事業所が減少傾向にあること、卸売業の販売額が大阪市について府下2位ではあるが、吹田で最も雇用者所得、住民の生活を支えている産業は医療や介護などの公共サービスであること、地域の課題では非正規雇用が増えていることと述べられました。また吹田市の市民意識調査の「市民満足度」について4年前と比較してすべての項目で満足度が上昇しているが、保育サービスや子育て、家庭での災害対策、情報発信など満足度が低い項目が固定化していることが課題とされました。問題提起では実行委員会事務局次長の山下さんからプレ企画で行われた2019年度ウォッチング吹田から今年新設された南吹田駅や北千里再開発、新しい道路を新設する佐井寺西土地区画整理事業について報告されました。各分野からは12名が「私の願い、私の提案」をテーマにスピーチを行い、民商からは布施事務局長が中小業者への消費税増税の影響について話しました。記念講演は大山崎町の近藤哲子さんから「保育所を守った 町長を変えた 町政を変えた 公営保育所を存続させた大山崎町(京都府)の取り組み」についてお話しされ、町長交代を実現させる住民運動の報告には多くの参加者が感動していました。午前の部の最後には大阪交響楽団の米山さん、名古屋フィルハーモニーの幸田さんによるヴァイオリン&チェロのデジオンサートがありました。



や障がい者施設の委託事業や指定管理者事業を受託している事例が報告されました。民商からは公共事業を受注する中小業者の事例について報告しました。分科会の後半では公契約条例が制定された東京都の世田谷地区・議長の中村重美さんから条例制定までの運動、条例の特徴と活用、これからの課題についてお話ししていただきました。



第6分科会は「誰もが人間らしく暮らしたい」憲法を力に」を主題として、貧困問題を中心に議論がされました。最初に3人のパネラーがそれぞれの立場からの報告が行われました。吹田民商から吉田事務局員が営業をしながら生活保護を受けている会員、国保料支払いの過酷さや医療費が払えないで病院に行くことを控えている実態などを報告しました。続いて、吹田市子ども・若者総合相談センターの相談員の岩雲さんから子どもや青年の引きこもりについて話され、支援し自立を促していくには長い期間が必要になることや、家族への支援も同時に考えていくようにしていることなど報告されました。最後に吹田市生活福祉課の前田さんから生活困窮者への支援の現状について報告がされました。最後に助言者の佛教大学の加美先生から、「新自由主義的な価値の浸透で自己責任論が促進・強化され、生活保護をはじめとした社会保障を受けることの権利性を切り崩し、『困っている』『助けて』と声を上げることも難しくなっている。こうした自己責任論を乗り越えるため、貧困や『生きづらさ』を生み出す原因が社会構造にあることを広め、市場原理・市場の権力の力を弱める、安心して自分を語り、声を出せる場を作っていくことが大事。それは、人は一人では生きていけない、多くの人と共同する世界。『相互依存』人間の平等を求める社会を築いていけるようにしましょう」と締めくくられました。

## 伝言板

### 年末調整実務会

12月23日(月) 14時00分・1月8日(水) 19時00分  
1月9日(木) 14時00分・1月17日(金) 19時00分  
従業員・法人役員から提出を受けた保険料申告書や扶養控除申告書など準備してご参加ください。書類準備については3日(火)19時・5日(木)14時に学習会を行います。

### 国保料・住民税 分納減免相談

12月19日(木) 14時00分 吹田市役所ロビー集合  
参加を希望される方は必ず12日までに事務局へご連絡ください。

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともいー!

午後からは7つの分科会に分かれて交流・討論が行われました。第4分科会・雇用と地域経済の循環を考える分科会では、「公契約条例を通じて住みたいまち、働きたいまち吹田をつくる」東京都世田谷区の事例にまなぶ」がテーマになり、吹田市地域経済振興室から雇用政策についてお話ししていただいた後、現場の声として民間委託された学童保育の現場や公営の学童保育指導員の処遇、高齢者施設